

丸山湿原群保全の会会報

(第 167 号)

発行日：2021 年 (R3) 6 月 16 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com



梅雨に入りずいぶん経ちました。しかし関東は 14 日に入ったばかり。平年が 6 月 7 日らしいので遅い入梅となります。近畿地方はやっと梅雨らしくなってきました。天気予報で「大雨のおそれ」という言葉に惑わされることがしばしば。先日の雨も、川の増水すらほぼ無し。(西谷だけ?) 山からの出水はわずか。近年は「梅雨の中休み」という言葉にとても違和感を覚えます。

入梅は「雑節」(日本の暦で二十四節気以外の、季節の目安となるような日)だそうで、時候の挨拶にも「入梅の候」などと使われます。何気なく 6 月だからと思っていたら、やはり「梅雨入り」していることが基本。気にしてなかった! 当たり前と言えば当たり前なのですが…。手紙を書くことも少なくなりましたが「ワープロ」の「挨拶文」に頼りすぎるのも考えものですね。

いつも言っていますが、梅雨であろうとなかろうと、適度に適当な時期に降ってほしいものです。「梅雨」。言葉としては大切な文化なんだと思いますが…。

(今住 6 月 15 日作成)

定期活動★5 月 23 日 (日) やっぱり緊急事態宣言中! 11 名で活動

「緊急事態宣言」が 6 月 20 日まで延長されることが確実視される時でした。丸山は普段と変わらず。やはり訪問者は多く(丸山基準)、ときどき人が通過していきます。天気も良く気持ちのよい日です。作業日。とはいえ、そろそろハッチョウトンボやトキソウが出る時期。作業時間を少々削り、観察もすることにしました。

作業は前回と同じく入口の平場。かなり進んでくると意外に面白いものが。藪で近づけなかった山際の水路(小川)は砂(まさ土?)が堆積しています。お天気も良く、「監督」は水の中に入っ



「監督」水路でしばし憩う

てしばしの憩いを。その近くにはシソバタツナミ(紫蘇葉立浪)がたくさん生育していました。湿り気と半日陰を好む植物。よく似たトウゴクシソバタツナミというのがありますが、これは変種と考えるのが妥当だそうです。タツナミソウの仲間は種類も多く、同定するのはかなり難しいようです。かわいい紫で波が立ったような花はタツナミソウの仲間 OK! えらいアバウトです。細かいところを見る人からは怒られそうですがお許しを! この時期は道際でタツナミソウの仲間が可愛く顔を出しています。ほんとにかわいい。



シソバタツナミ

作業のことを忘れてしまいます。いつも「もう少しで藪を突き抜けられる」という感じで進んでいます。「もう少しやのに抜けられないのはなぜ？」という疑問も出るでしょうが、そこがほれ「丸山湿原群保全の会」のいいところ。「のんびり、のんびり」無理しない。「遊んでるんか？」と声が聞こえてきそうですが、はっきり言います。「遊んでいます！」あ～言っちゃった。ま～楽しく気楽にできるところがいいところだと思っています。ご意見は頂戴しますのでどしどし言ってください。



玉切りで丸太橋

しかしこの場所、開けてくるとことのほかい感じに。イノシシの狼藉は仕方ないものの、**前回のムカシヤンマ**といい、**かなり貴重な環境のように感じます**。もともと何に利用されていた場所かは不明。石を積み上げた基礎のようなものもあり謎です。ご存知の方は情報を。

小さな丸太を「監督」がノコギリで伐り、水が流れている場所に「丸太橋」を。少し離れた場所では刈り払い機でササや小木の刈り取り。草本類などは手刈りも。面白いものを見つけるのはだいたい手仕事組。「丸太橋」を見に行くと、また「ヤンマ」らしきトンボ。止まりません。ホバリングしてもすぐ移動。コンデジでは**何となくしか写りませんでした**が、「ヤマサナエ」か「キイロサナエ」ではないか？知らんけど。減少傾向著しいトンボです。小川の砂泥や湿地のある環境。人にとっては利用価値の低い所で、放置か埋める（乾燥化する）ことが多いと思います。なかなか進まない平地整備。いろいろ楽しみながら進めていきたいと思っています。



まずまず順調ツチアケビ

湿原に向かいます。ツチアケビ（土木通）は健在。次回活動日ぐらいには開花か？無事だったらの話ですが。今年はヤマボウシ（山法師）が多い！山に白妙（白い布）のように見えるところも。赤い実を食べるのが楽しみです。（おいしいかどうかは別ですが。まあまあか？）タンナサワフタギ（耽羅沢蓋木）やコアジサイ（小紫陽花）、タニウツギ（谷空木）も美しい。湿原に着くとトキソウ（朱鷲草）が咲き始めていました。まさしく「朱鷲色」。6月中旬ぐらいまでは見られると思います。ピンクが目立つので踏み込んで撮影される方がいますが、ご遠慮を。望遠などをご活用くださ



画像が悪い！ヤマサナエ？キイロサナエ？



タンナサワフタギ



ヤマボウシ



コアジサイ

（朱鷲草）が咲き始めていました。まさしく「朱鷲色」。6月中旬ぐらいまでは見られると思います。ピンクが目立つので踏み込んで撮影される方がいますが、ご遠慮を。望遠などをご活用くださ



トキシウ

今回は捕まえてちょっと観察。大きさもよくわかると思います。捕まえるのは「監督」が帽子でみごとキャッチ。昆虫を捕まえるたびに思うことですが「毛深い」。センサー？防寒？水分集め？護身？想像が膨らみます。何か理由はあるはず。人間界では「毛＝ムダ毛」が極端に嫌われる傾向あり。（頭は別ね！）「なぜだろう？」と自分の「濃いすね毛」を見て思う毎日です。（見せないよ）観察後リリース。「立派な大人になるのだぞ」と祈り、その場を後にしました。

い。たまに観察道近くで咲くこともあります。この場合は盗らないで！当たり前か？

そしてハッチョウトンボ（八丁蜻蛉）は？第1湿原では見つけられず。では第4湿原は？いましました。未成熟の個体やほぼ成熟した個体。オスばかりのようです。メスは後からか？毎年出始めはオスが多い？



爪が汚いがハッチョウトンボ

小学校環境学習★6月4日（金） 座学（事前学習） 3名で対応

またまた緊急事態宣言下（延長）でどうなるかと思っていましたが、「そちら（お年寄り？）が



密はないでしょう！ いい感じの教室

構わないなら座学は実施可能」ということで行ってまいりました。気がつけば、子どもたちから見れば「おじいちゃん」「おばあちゃん」の世代。コロナに対する配慮は「私たち」のためとつくづく感じました。異常な日常。全員マスク。声が聞こえにくいですが、始まったら止まらない。今年も1限の枠を、2人で2限（3時限目と4時限目）ばっちり使いました。4時限目は「体育」だ

構わないなら座学は実施可能」ということで行ってまいりました。気がつけば、子どもたちから見れば「おじいちゃん」「おばあちゃん」の世代。コロナに対する配慮は「私たち」のためとつくづく感じました。異常な日常。全員マスク。声が聞こえにくいですが、始まったら止まらない。今年も1限の枠を、2人で2限（3時限目と4時限目）ばっちり使いました。4時限目は「体育」だ

ちょっと内容がパターン化しているところもありますが、新ネタも仕込んでいます。「つかみ」に20分ぐらいかかった？写真担当の会員は「いつになったら丸山湿原の内容に入るのだろうか」とハラハラしていたそうです。それに気づいた私は子どもたちに「夕方5時までやっていいか？」と尋ねる始末。子どもたちは「ええでー！」と。「あかんやろ！」と本題に入りました。教室のポ

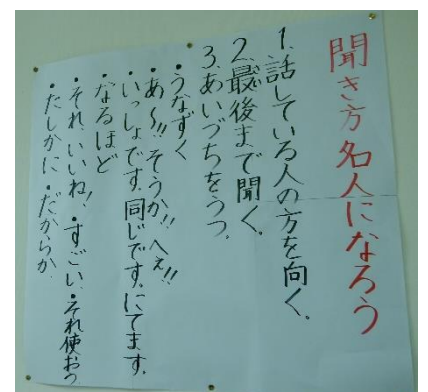
スターを見ると「聞き方名人になろう」となってますがな。「のせ方名人」にも。元気で楽しいクラスでした。総勢15名。密はないで。

しかし、つかみの「オオキンケイギク」は覚えておいて欲しいなと思っています。「特定外来種」ね！それと身近な「わおっ！」（驚きや気づき）。どこにでも発見が。相手をよく知ることも…ちょっと欲張りやね。「楽しかった」でいいか。

5分の休憩後、後半戦。「話し方名人」の登場。席は「温めて」おきました。丸山湿原



後半の話し方名人



とっても納得「聞き方名人」



すぐ給食の準備

群の動植物や特性をわかりやすく説明していただきました。ネタは尽きず。どんどん時間は進みます。気がつくと給食の時間。快く許して下さった担任の先生に感謝申し上げます。

郊外活動は緊急事態宣言下とその直後はできないそうなので 7 月の中旬を予定しています。ハッチョウトンボまだいるかな？お待ちしております。

定期活動★6月12日(土) 定期基礎調査 12名で活動

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
丸山	75	73	入口	10:08	29.2℃		
ハイキング	30	19	第3湿原	10:45	【22.4℃】	39.8 μS/cm	6.9
散歩・登山	71	69	視点場	10:57	25.9℃	42.0 μS/cm	6.9
来場者数 計 337人 (竹筒ポスト人数)			第1湿原	11:09	【25.6℃】	58.3 μS/cm	6.9
			第2湿原	11:35	【22.8℃】	48.9 μS/cm	6.9



ポストに入りきらない小石

竹筒ポストの数が連続300を超えています。やはりコロナの影響で**コロナ景気**がやってきているようです。しかもポストのキャパを超えている。溢れかえった小石。さて、いたずらもあるのか？いやいや性善説でいきましょう。古くなってきたことも含め、次回の活動日に新調ということになりました。竹はマダケ(真竹)を確保済み。長い節のところを利用しようと考えています。ただこの時期に伐ったタケは腐りやすい。何年持つかは???

今日は観察日。入るとすぐ蛾が。美しい。**オオミズアオ(大水青)**です。**ニガイチゴ(苦苺)**も豊作。名前の通り少し苦味はありますが、ジャムにするとおいしいそうです。**ササユリ(笹百合)**も点々と咲いています。ツチアケビも開花が始まりました。もう1株、アカメガシワの横からも出ています。近くには日本最大級のテントウムシ、**カメノコテントウ(亀子瓢虫)**がいました。なかなか面白いデザインです。湿原では**ノハナショウブ(野花菖蒲)**、**カキラン(柿蘭)**、**モウセンゴケ(毛氈苔)**、**コバントンボソウ(小葉の蜻蛉草)**も咲き始めました。**ハッチョウトンボ**はまだ少ない。

いらぬことを書き過ぎ紙面が足りません。ここまで。賑やかな時期になってきましたぜひお越しください。

総会は会場の都合もあり、書面議決とします。近いうちに昨年同様、総会資料をお送りしますのでご検討の上、表決票のご返送をお願いいたします。

活動は通常通り。



オオミズアオ 動かない



カメノコテントウ



原種 ノハナショウブ



ニガイチゴ まあおいしい



ツチアケビ開花 ※ 会費 2000 円 (ボランティア保険代込み) 納付お願いいたします。カキラン

次回活動 27日(日) 7月10日(土) 25日(日) 8月14日(土) 22日(日)